

留萌市のあゆみ(年表)

西暦	和暦	主 要 事 項
1596		
～	慶長年間	ルルモッペ場所開設される。
1614		
1634	寛永11年	松前景広、ルルモッペ場所の知行主となる。
1855	安政2年	ルルモッペ場所を含む西蝦夷が幕府の直轄となる。 同地域を秋田藩の護衛地とする。
1867	慶応2年	ルルモッペ場所は箱館奉行の直轄となる。
	《明治》	
1869	明治2年	ルルモッペを留萌(るもえ)を命名する。 留萌地方は山口藩の支配となる。
1871	明治4年	栖原家、漁業経営を始める。
1872	明治5年	宗谷支庁留萌出張所(現留萌支庁)が設置される。
1874	明治7年	留萌郡戸長役場が設置される。
1875	明治8年	留萌郡浦役場が設置される。 留萌郵便局が設置される。
1877	明治10年	戸長役場を川北に建造する。(開基とする)
1878	明治11年	開拓使留萌測候所が設置される。
1880	明治13年	留萌外5郡役場を開庁。 留萌小学校を開校する。
1887	明治20年	留萌警察署を設置する。 英人C. S. メーク、港湾調査のため来村する。
1889	明治22年	定期航路船樺戸丸、飛竜丸が入港。
1900	明治33年	戸長役場を現在の位置に開設する。
1901	明治34年	留萌～妹背牛間の道路が開通する。
1902	明治35年	留萌村(礼受村合併)に北海道2級町村制が施行される。 戸長役場を村役場と改称する。
1904	明治37年	五十嵐億太郎が道会議員に当選する。
1907	明治40年	留萌～深川間の鉄道工事が始まる。 留萌村に1級村制を施行、三泊村合併。
1908	明治41年	6月町制施行、留萌町となる。
1910	明治43年	留萌港築港工事に着手する。 留萌～深川間の鉄道が開通する。
	《大正》	
1914	大正3年	増毛支庁を留萌町に移し、留萌支庁と称する。
1921	大正10年	留萌～増毛間に鉄道が開通する。
1923	大正12年	留萌川切り替え工事が完了する。
1924	大正13年	道庁立留萌中学校が開校する。

	《昭和》	
1927	昭和2年	留萌～鬼鹿間の鉄道が開通する。
1931	昭和6年	留萌港築港工事が完了する。
1932	昭和7年	留萌～羽幌間の鉄道が開通する。
1934	昭和9年	町立留萌病院を設置する。
1936	昭和11年	留萌港が国際貿易港に指定される。
1939	昭和14年	人造石油工場が研究所を設置する。
1942	昭和17年	天塩炭鉱鉄道の留萌～達布間が開通する。
1945	昭和20年	留萌沖で樺太引揚船3隻が撃沈される。
1947	昭和22年	市制施行、留萌町が留萌市になる。 初代市長に原田太八が就任。
1948	昭和23年	道立留萌高等学校が開校する。
1949	昭和24年	第1回商工港まつり始まる。
1952	昭和27年	留萌港が重要港湾に指定される。
1953	昭和28年	自衛隊(第26普通科連隊)が駐屯する。
1954	昭和29年	市長に橋本作市が就任。
1958	昭和33年	元町大火事がある。(252戸灰燼)
1959	昭和34年	大和田炭礦閉山。
1961	昭和36年	留萌～札幌間に急行“るもい号”が運行する。
1962	昭和37年	市長に原田栄一が就任。
1962	昭和37年	留萌市役所現庁舎が完成する。
1963	昭和38年	留萌～旭川間に準急“るもい号”が運行する。
1964	昭和39年	留萌市の市章を制定する。
1967	昭和42年	電話がダイヤル式即時通話となる。 開基90年、市制施行20周年記念事業を行う。
1968	昭和43年	市立病院を新築する。 留萌市旗を制定する。
1969	昭和44年	花園地区区画整備事業完工する。 留萌小学校全焼する。
1970	昭和45年	へいんず丸三泊沖で座礁する。
1971	昭和46年	副港埋立事業スタートする。 留萌高校が甲子園に出場する。
1973	昭和48年	市民憲章が制定される。 留萌スポーツセンターが完成する。 市文化センターが完成する。
1975	昭和50年	電源立地可能性調査協議会が発足する。 東光小学校新校舎が完成する。

1977	昭和52年	第1回冬まつりが開催される。 勤労者体育センターが完成する。 開基100年、市制施行30周年記念式典が挙行される。 UHF局が開局する。
1978	昭和53年	衛生センター完成する。 106mm豪雨が襲う。被害額1億200万円、床上浸水65、床下浸水215世帯 若松選手(ヤクルト)に市民栄誉賞を贈る。
1979	昭和54年	沈没船泰東丸の捜索を開始する。
1980	昭和55年	国鉄ローカル線廃止で決起集会を開催する。 神居岩地区にツツジ、サクラの森を造成する。 留萌地方合同庁舎完成。
1981	昭和56年	海洋エネルギー調査地の指定を受ける。 神居岩にスキー場がオープンする。
1982	昭和57年	特別養護老人ホームがオープンする。 沖見小学校が開校する。 留萌中学校火災に遭う。
1983	昭和58年	水産加工総合管理センター完成する。 市議会議員定数28となる。 中幌分校が閉校となる。 国鉄羽幌線廃止反対運動が始まる。 新エネルギー技術開発プロジェクトの風況調査が始まる。
1984	昭和59年	第1回やん衆どすこほい(冬まつり)が開かれる。 平和都市を宣言する。 泰東丸調査を打ち切る。 五十嵐億太郎翁の立像が千望台に完成する。 HBC、STVラジオ局開局。 国鉄羽幌線の廃止承認される。
1985	昭和60年	留萌中学校新校舎完成。 市民憲章シンボルマーク制定。 市民栄誉賞の若松選手「名球会」に入る。 港北コミュニティーセンター完成。 史上最低気温-34.8℃を記録する。 「留萌文化史」発刊される。
1986	昭和61年	市長に五十嵐悦郎が就任。 黄金岬海浜公園が完成。
1987	昭和62年	国鉄羽幌線廃止。 市議会議員定数26となる。
1988	昭和63年	8月豪雨による水害(8月24日から27日かけての大雨) 被害総額61億7,913万円、床上浸水1,270棟、床下浸水2,106棟。

	《平成》	
1989	平成元年	留萌市峠下小学校閉校。 るるもっぺ憩いの森完成。 海のふるさと館完成。 留萌ダム着工。 留萌～深川間高規格道路の着工決まる。 留萌市コースタル・コミュニティゾーン整備計画(C C Z計画)が建設省の認定を受ける。 第44回はまなす国体秋季大会開催(ゲートボール)
1990	平成2年	市立留萌図書館完成する。 黄金岬ライトアップ完成する。 留萌市学校給食センター完成する。
1991	平成3年	留萌市神居岩休憩施設完成。 留萌橋完成。
1992	平成4年	樽真布小学校閉校。 樽真布中学校閉校。 留萌浄化センター管理棟完成。 下水道供用開始。 古丹浜にマイナス10m岸壁完成。 浜中運動公園工事完了。陸上競技場など、一大スポーツパークが誕生。
1993	平成5年	北海道留萌合同庁舎完成。 るるもっぺ憩いの森道の鳥獣保護区設定。 春日住民センター、春日児童センター完成。 カナダコートニ市の高校と留萌高校友好校の提携。
1994	平成6年	市長に長沼憲彦が就任。 寿児童センター・ふれあいセンター完成。 留萌地域人材開発センター「パワスポ留萌」オープン。 スパイクタイヤ使用禁止地域に指定。 小樽・留萌間日本海体験クルーズ535人参加。
1995	平成7年	市議会議員定数24となる。 千鳥児童センター完成。 在宅介護支援センター完成。 「留萌のニシン漁撈(旧佐賀家漁場)用具」が国の重要有形民俗文化財に指定される。
1996	平成8年	住之江児童センター完成。 マサリベツ望洋の森オープン。 旧佐賀家漁場国の史跡となる。 留萌港フェリー就航促進期成会発足。 インターネット留萌市ホームページ開設。 ルルモッぺ大橋完成。 留萌市同報系無線システム運用開始。

1997	平成9年	留萌市第4次総合計画スタート。 市制施行50年・開港60年・開基120年記念式典。 第1回宇宙一の夕陽フォトコンテスト開催。 ゴミ分別収集スタート。(7種+1) 五十嵐町市営住宅完成(高層)。 潮静第2土地区画整理事業スタート。
1998	平成10年	第18回冬季オリンピック長野大会に武山香里(スノーボード) 大高友美(クロスカントリー)選手出場。 新信砂浄水場改造工事完成 風力発電施設(礼受2基)完成。 市長に長沼憲彦再選(2期目) 美・サイクル館(藤山町)供用開始。 留萌市出身の若松勉ヤクルトスワローズ監督就任。 瞬間最大風速39.6mを記録。 留萌本線に24年振りにSL走る。(NHKドラマロケ) 千望高校開校。
1999	平成11年	市議会議員定数22となる。 第1回(萌っこ春待里)開催。 風力発電施設(礼受4基)完成。 保健福祉センター「はーとふる」オープン。 礼受牧場に畜産館オープン。 ニシン群来。(礼受沖)45年振り 留萌市功労者の佐藤勝氏逝去。 記録的猛暑の夏。 市立総合病院移転改築工事着工。
2000	平成12年	記録的豪雪。(最深積雪量119センチ) 留萌高校商業科閉校。 留萌市情報公開条例施行。 留萌市過疎地域に指定。 友好港湾(営口港務局)10周年。 十字街再開発ビル(温水プール)着工。 市道西海岸線開通。 留萌高校新校舎完成。 五十嵐町市営住宅(リラ)建設大臣賞受賞。 風土工房こさえーる完成。 家庭系ごみ処理手数料有料化。

2001	平成13年	<p>北光中学校新校舎完成。</p> <p>豪華客船「ふじ丸」留萌港寄港。</p> <p>留萌市立病院移転完成。</p> <p>温水プール「ぶるも」十字街再開発ビル内オープン。</p> <p>風力発電4基増設, 10基になる。</p> <p>佐賀番屋が北海道遺産として認証。</p> <p>留萌市出身若松監督ヤクルトスワローズ優勝日本一になる。</p> <p>フェリー試験運航の実施。(留萌港～苫小牧)</p> <p>12月降雪量過去最高。(250cm)</p>
2002	平成14年	<p>大高友美選手長野冬季オリンピックに続きソルトレークオリンピックに2回目出場。</p> <p>市長に長沼憲彦再選。(3期目)</p> <p>豪華客船・飛鳥クルーズ。(留萌港～能代港)</p> <p>留萌・小平農業協同組合合併でJA南るもい誕生。</p> <p>姉妹都市ウラン・ウデ市30周年。</p> <p>藤山小学校閉校。</p> <p>留萌・小平漁業協同組合合併で新星マリン誕生。</p>
2003	平成15年	<p>留萌南部3市町任意合併協議会設置。</p> <p>市議会議員定数20となる。</p> <p>新留萌市史発刊。</p> <p>都市計画マスタープラン完成。</p>
2004	平成16年	<p>新火葬場「やすらぎ聖苑」オープン。</p> <p>記録的猛暑。</p> <p>台風18号直撃。被害総額5億5,761万円、最大瞬間風速43.9m。</p> <p>FMもえる開局。</p> <p>場外馬券場「a i b a 留萌」オープン。</p> <p>潮静児童センター完成。</p>
2005	平成17年	<p>財政再建計画策定。</p> <p>「バイオマスタウン構想」第1号認定。</p> <p>サハリン飛鳥クルーズの実施。</p> <p>ユジノサハリンスクで「サハリンるもい展」開催。</p> <p>公共施設でアスベスト検出。</p>
2006	平成18年	<p>高橋新市長誕生。</p> <p>深川留萌自動車道 留萌幌糠インターチェンジ開通。</p> <p>日本海オロロンライントライアスロン国際大会終幕。</p> <p>Bフレッツ、光が留萌へやってきた。</p> <p>礼受小学校閉校。</p> <p>留萌市23年ぶりの赤字決算。</p>

2007	平成19年	<p>開基130年・市制施行60年・開港70年記念事業を行う。</p> <p>豪華客船「飛鳥Ⅱ」来航。</p> <p>市議会議員定数16名となる。</p> <p>デザイン灯台(波灯の女)完成。</p> <p>船場公園一部供用開始(パークゴルフ場・ドックラン)。</p> <p>留萌市自治基本条例施行。</p>
2008	平成20年	<p>応援寄付金条例を制定する。</p> <p>留萌初カルチャーナイトを開催する(親子で楽しむ)。</p> <p>客船「ばしふいっくびーなす」が来航する。</p> <p>地上デジタル放送が開始する。</p> <p>緑丘小学校開校50周年を迎える。</p> <p>営口港務集団代表団が来留する。</p> <p>黄金岬で海難事故が発生する(2名亡くなる)。</p>
2009	平成21年	<p>留萌健康の駅オープンする。</p> <p>「若松 勉」野球殿堂入りする(北海道初)。</p> <p>新型インフルエンザ留萌でも猛威(学校閉鎖相次ぐ)。</p> <p>留萌高校生活躍、吹奏楽全国大会に出場する。</p> <p>留萌ダム完成する。</p> <p>留萌高校生活躍、写真甲子園全国大会に出場する。</p> <p>千望高校生活躍、情報ビジネスクラス「練そぼろ弁当」を販売する。</p>
2010	平成22年	<p>J R 留萌線100周年、各種記念イベント開催。</p> <p>ラルズプラザ留萌店閉店、るもいプラザとして再出発。</p> <p>留萌100年物語(阿部貞夫生誕100年、大和遠州流開案100年等)。</p> <p>高橋市政2期目スタート。</p> <p>三泊小学校閉校。</p> <p>支庁制度改革にピリオド 留萌支庁から留萌振興局へ。</p> <p>留萌高校スキー部全国大会制覇。</p>
2011	平成23年	<p>3.11東日本大震災 留萌からも多くの支援の輪。</p> <p>カズモ赤ちゃんの駅認定。</p> <p>やん衆横丁初開催。</p> <p>市議会選挙 新人議員4名誕生。</p> <p>道道留萌小平線「萌平トンネル」開通。</p> <p>東雲診療所オープン。</p> <p>市立病院単年度収支黒字。</p>

2012	平成24年	<p>「留萌海岸花火大会」開催。 北海道日本ハムファイターズ 市町村応援大使に「二岡選手・村田選手」が決定。 レトロバス「カズモ号」運行。 留萌小学校改築。（留萌小学校・沖見小学校統合） 留萌市の人口 2万4千人を下回る。 留萌市連携協定「シーフードダイニング 留萌マルシェ」秋葉原駅前店・横浜鶴屋町店オープン。</p>
2013	平成25年	<p>1月3日記録的な大雪、交通網がマヒ。 北海道日本ハムファイターズ 市町村応援大使「村田和哉選手」が来訪。 留萌南部3市町による一般廃棄物広域処理開始。 深川・留萌自動車道「留萌幌糠IC～留萌大和田IC」開通。 陸上自衛隊留萌駐屯地創立60周年を迎える。 市民グループ「三省堂書店 応援し隊」が『文字・活字文化推進対象』を受賞。</p>
2014	平成26年	<p>豪華客船飛鳥II、につぼん丸寄港。 高橋市政3期目スタート。 留萌小学校新校舎竣工。 幌糠小学校閉校。 つくばユナイテッドSun G A I A 留萌で合宿。</p>
2015	平成27年	<p>船場公園管理棟完成。 留萌小学校新校舎落成式。 笹川院長退任、名誉院長に就任。 10月に低気圧による強風で一次産業に被害。旧合板施設破損で、やん衆横丁中止。</p>
2016	平成28年	<p>J R 留萌本線（留萌・増毛間）鉄道事業廃止。 かずの子条例制定。 船場公園全面供用開始。 留萌消防組合庁舎完成。</p>
2017	平成29年	<p>11月に発生した暴風雨により、旧佐賀家漁場の損壊など、市内各所で被害。 船場公園の愛称が「るしんふれ愛パーク」に。 市政施行70周年、開港80周年記念事業が行われる。</p>
2018	平成30年	<p>中西新市長が誕生。 幼児療育通園センター改築移転。 北光中学校閉校。</p>
	《令和》	
2019	令和元年	<p>小規模保育 すまい留開所。 遼寧省・營口市 経済友好交流訪日団来日。 シーサイドキャンプ開催。</p>
2020	令和2年	<p>道の駅るもい オープン。 高規格幹線道路全線開通。 新型コロナウイルス感染症の影響により、市内の各種イベントが中止。</p>
2021	令和3年	<p>道の駅るもい「屋内交流・遊技施設」の愛称が「ちゃいるも」に決定。</p>